

TETSU-TO-HAGANE

鉄と鋼

Journal of The Iron and Steel Institute of Japan

主　要　目　次

隨想	文	1783
エントロピー思考	論	1783
ペレット(酸化ニッケル)の還元におけるガス側物質移動	文	1785
抵抗の評価について		1785
高炉でのスラグ銑鉄間への Si, Mn および S の分配比による		
炉内下部領域の状態の判定		1791
溶銑の取鍋内脱磷法		1801
固体鉄飽和 $Fe_3O_4-P_2O_5$ 系スラグの熱力学		1809
角-オーバル, 角-ダイヤ, 丸-オーバル圧延方式における		
圧延材の幅広がりと伸びの計算法		1819
溝状粗面ロールによる圧延における 3% 硅素鋼の冷延		1828
集合組織の形成について		
ロール表面に溝をつけて圧延することによる 3% 硅素鋼板の		
加工度分布の変化について		1838
オーステナイト耐熱鋼平滑材のクリープ破断特性への粒内		
および粒界強度の影響		1848
オーステナイト耐熱鋼の切欠クリープ破断特性への粒内		
および粒界強度の影響		1858
Cu と NiAl の複合析出硬化鋼の組織と韌性に関する		
研究		1868
高張力鋼の延性および延性破壊過程におよぼす MnS		
介在物の影響		1878
技術報告		
任意の炭素および窒素濃度を含むクロム・ニッケル・		
オーステナイト鋼薄板試料の作製について		1887
研究速報		
酸化鉄ペレットの還元における多界面モデルの反応速度式		1894
展望		
コークス比の低減と非粘結炭を使用する新コークス製造法		1897
解説		
○鉄鋼業の省エネルギー		1904
連続製鋼プロセスの研究開発		1911
特別講演		
○製鉄所の近代化とその運営		1918

NO.
VOL. 63
OCT. 1977 12

社団法人 日本鉄鋼協会

The Iron and Steel Institute of Japan

Price:

¥1500 per copy excl. postage

Keidanren Kaikan, 9-4, Otemachi-1-Chome

Chiyodaku, Tokyo, Japan